

崇学会だより

第10号

発行日 2016年2月20日

発行所 崇学会事務局

〒860-0082

熊本市西区池田4丁目2番1号



崇城大学
学長 中山峰男

教職に携わっておられる崇学会の皆様には、ご健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。

予てより母校発展のため、多大なご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

お陰様で本学は現在大きな躍進を続けております。学生募集について紹介いたしますと、18歳人口の減少で全国の私立大学の半数が定員割れの状況と言われる中で本学も大変厳しい時期を過ごして参りましたが、実践的な英語教育施設（SILC）の開設等様々な教育改革や新たな特待制度の導入など入試改革に取り組んで参りました結果、その成果が奏功し近年志願者も入学者も増加に転じております。平成27年度入試では志願者の伸び率では九州・中国地区内の私立大学では1位でありました。年々大学の評価も高くなっております。

また、就職状況に於いても、昨年度の就職率は99.2%で、全国平均96.7%、九州内大学の平均94.7%と比較しても極めて高水準であり九州地区でもトップクラスを維持しています。私ども高等学校への進学説明会では「学生の夢が叶う大学です」というふうにPRしております。

学内に於いては昨年から学生が生き生きと明るく成長していくことを促すため「笑顔と感謝の表彰制度」を設けました。本学の創立以来の建学の精神である「体」、「徳」、「智」にちなみ、各分野ごとの三つの賞（体育-SOJOパワー賞、徳育-SOJOスピリット賞、智育-SOJOブレイン賞）を設立しました。その狙いは、各分野で頑張ってい

る学生を幅広く表彰することで学生の頑張りに報い、ひいては私学の特色とし大学全体の活性化に繋げることができればと考えます。現在まで907名の学生を表彰しました。本年も、全教職員が心一つにして親身になって、学生の成長をサポートし教育指導を行って参りたいと考えます。

次に学生に起業力を身に着け、学生に夢を持ってもらうための起業家育成プログラムでは昨年10月に学生起業家支援を目的とした崇城大学サンフランシスコオフィスを開設しました。昨年第1回ビジネスプランコンテストで優勝した卒業生は、ファンドの支援を受け、コロンビアで外食ビジネスを起業しています。

また、学生の国際力を高め、世界で活躍する人材を育成するために欠かせない実践的な英語教育においてはネイティブ講師が英語オンリーの授業を行う「SILC(英語学習施設)」で、読む・聞く・話す・書く、すべての力を伸ばしコミュニケーション重視の英語学習を実施しています。更に、自立学習を促す「SALC(セルフアクセスラーニングセンター)」では教員だけでなく大学院生のファシリテーター(自立学習の促進役)が常駐し、教材の選定や学習方法の助言を行っております。学生諸君には、在学中に最低1回は海外留学経験をしてもらうために、今年は世界12カ国24校の協定校への留学や研修プログラムを大幅に増やす予定です。奨学金制度も更に充実させ学生の背中を押す体制を整えます。

以上、本学の取り組みの一端をご紹介しましたが、このような様々な教育活動を通じ、大学のブランド力、学生のブランド力向上のため、そして卒業生の方々が誇りに思える母校づくりを進めていく覚悟でございます。最後になりましたが、卒業生の方々のご健勝をお祈り申し上げますと共に、今後ともご支援賜りますようお願い申し上げます。



教職希望学生と崇学会との懇談会を開催しました。

教職を志望する在學生と教職に就いていた卒業生が共に学び合い、互いに支え合う場所をつくりたいという趣旨で、教職希望学生と崇学会との懇談会を開催しました。第1回目となるこの懇談会は、12月5日（土）図書館1階全学SALCにて開催。最近発足した教職希望学生の集まり「崇城大学教職サークル」のメンバーを中心に学生が意欲的に参加し、教職への志をさらに高くしました。

今回、教育現場の「今」を学生に伝えるために、熊本県内の会員を招いて、教育への思いや教職の魅力などを語りました。その様子を紹介します。



1 会長あいさつ

崇学会会長（馬場崎）が、「教育には喜びと感動があり、とてもやりがいのある仕事。是非、教員を目指して頑張ってもらいたい。今回が、その第一歩になるよう願う」と激励。

2 崇城大学教職サークル代表あいさつ

崇城大学教職サークル部長の三岳征智君より「崇城大学教職サークルの設立目的と今後のビジョン」について説明。教育に関して興味と熱意ある学生諸君の様子をみて誇らしく、頼もしく思いました。

3 講演

「教育の現状と課題」をテーマに崇学会松下顧問より講話。松下顧問は、20年後の社会について学生たちにメッセージを投げかけました。「今後、社会が変わり、働き方や生き方、企業の採用も変わってくる。変化が激しい、予測できない社会において、必要とされる知識・能力は学び続ける力を身に付けることが大事である。さらに、これからは様々な状況の中で、状況を見極め、何をすればいいのか判断する力や問題を解決する力が求められる。また様々な意見や情報を編集し、相手を納得させるコミュニケーション力が必要である」と激励。

4 体験発表

新任の会員である山名耕平さんの体験発表。山名さんは、「採用試験に合格するまで、過去問を解いて自分が間違えた問題のノートを作り、一生懸命勉強したことや教育実習の経験も大切だった」等、熱く語ってくれました。学生も真剣に聞き入っていました。



5 班別討議

出席者を5班に分けて討議。会員も各班に入り助言。最後に各班代表の学生から討議の内容について発表がありました。

6 懇親会第2部

1部プログラム終了後は、食堂へ移動して懇談会2部を行いました。今回はアルコールなしでしたが、とても盛り上がりました。参加した学生諸君はいろいろな先生方と交流で来てよかった。などの声が聞かれました。次年度は、さらにグレードアップして行きたいと思えます。



多様で効果的な道徳教育の指導方法を目指して

八代市立鏡中学校 稲留 陽香

(平成24年 美術学科卒)

1 はじめに

平成24年文部科学省実施の「道徳教育実施状況調査」によると、「効果的な指導方法が分からない」と答えている教員が小学校で33.2%、中学校で38.9%という結果がでている。また、「指導の効果を把握することが困難」と感じている教員が小学校で48.3%、中学校で42.7%いる現状である。このような現状のままでは、道徳教育の改善を図るための「特別の教科 道徳」が教員にとって負担になることも考えられる。美術の特性を生かし、多様で効果的な道徳展開を目指している。

2 取り組み

(1) 学びを深めるための取り組み

- ① 全員参加の授業づくり
- ② ワークシートの工夫
- ③ 使用教材の工夫

(2) 本時の学びを日常生活につなげるための取り組み

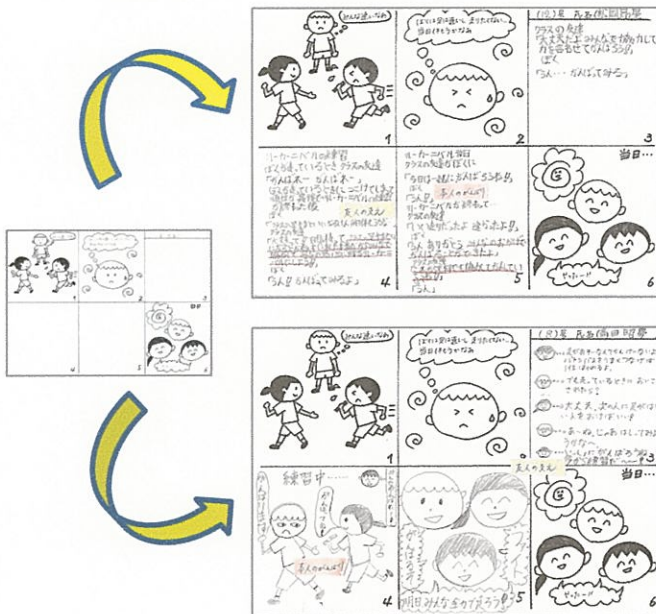
- ① 行事との関連
- ② 本時の振り返り
- ③ 発信の工夫

(3) 「道徳の時間」以外の取り組み

- ① 座席の配慮
- ② 朝自習の有効活用
- ③ 保護者との連携

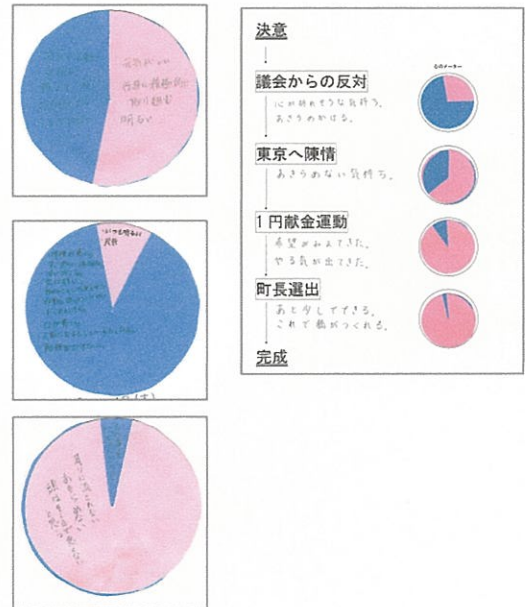
② ワークシートの工夫

- ア 上がメモ欄、下が感想文形式のワークシート
- イ 漫画形式ワークシート



③ 使用教材の工夫

- ア 身近なものの写真の使用
- イ 心情の視覚化



3 結果・成果



これまでにいくつかのトラブルや問題があったが、全て子どもたちからの報告で、早期発見、早期解決ができてきた。11月に実施したハイパーQ-Uテストでは、学校生活意欲が全国平均75.4の中、学級では84.4という結果だった。「教師との関係」全国平均13.8、学級18.0、「学級との関係」全国平均15.2、学級17.8という結果であり、特に数値が高かった。道徳の時間を通して、お互いを知り、関係を築けているのではないかと考える。

「崇城大学教職サークル」発足！

崇城大学教職サークル創設者・部長 三岳 柁智

将来教員を目指す学生たちを対象とした「崇城大学教職サークル」が、今年度(H27年)の9月に発足しました。主な活動内容としては、教職教養・専門科目の勉強や崇城大OB・OGの現役教員との座談会(崇学会との接続)、生徒たちとの交流や模擬授業の練習など様々です。

平成27年12月現在、28名の部員が在籍しています。また、教職サークルの活動は、毎週金曜日の6限目に、大学図書館1階の全学SALC(A)で実施しています。〔教職サークルの詳細は↓↓〕

● H27.12.5(土)の崇学会懇談会で発表したスライドの一部を紹介 【※一部更新箇所あり】

<p>はじめに・・・</p> <ul style="list-style-type: none"> 「崇城大学教職サークル」は、「学生が主体的に学び合う学修サークル」です！！ <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> 別の視点から説明すると、「教員になるという進路実現を目指すサークル」です！！ 	<p>はじめに・・・</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成27年12月現在、部員数は28名です。 これまで実施されてきた放課後の教員採用試験対策講座「教職講座」も、このサークルに含まれて(合併して)います。 「崇城大学教職サークル」の管轄は、APの関係で教務課となっており、顧問は、総合教育センター教職担当(木村准教授)となっています。 	<p>設立趣旨を簡単にまとめると・・・</p> <ul style="list-style-type: none"> 現役で教員採用試験に合格することは、難しくなっていると言われている現状で、どうやって現役で合格できるだろうか？ <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> 互いに高め、教え合う場所があれば、より可能性は広がるはず！！
<p>役員紹介 (H27.11.16時点)</p> <ul style="list-style-type: none"> 顧問 木村 勝美 部長 三岳 柁智 部長代理 谷崎 結木 副部長 袴谷 健生, 松尾 愛美 副部長(サブ) 波多江 悠, 中村 茉耶 広報 宮川 純一, 村井 佑有 書記 田渕 詞也, 吉開 碩音 	<p>サークル活動に参加しようと思った理由</p> <ul style="list-style-type: none"> サークルに参加することで、きちんとした勉強の時間を作りたい。 多くの人と関わることで、コミュニケーションを図りたい。 同じ目標を掲げた人たちと接することで、切磋琢磨しようとする気持ちになりたい。 <p>etc...</p>	<p>サークルの考えられる効果</p> <ul style="list-style-type: none"> 教職員を目指す学生が集まることで、モチベーションが上がる。 現役教員の生の声を聞くことで、情報量が増える。 集団で勉強をすることで、お互いに助け合える。 <p>➡ 教員になりたいという気持ちが高まる！！</p>

サークルの活動計画 (9・10月)

活動日	時間帯	活動内容	備考
9月18日(金)	6限目	教職サークルの設立及び活動計画等についての説明 メンバー全員の自己紹介(途中行方)	
9月25日(金)	6限目	テクノファンタジーについて(副部長より説明:最初) 教職サークルの活動計画等について(部長より説明) メンバー同士の交流会①(グループワーク:残りの時間)	
10月2日(金)	6限目	★勉強会① ・教職教養の勉強(グループワーク形式)	各自テキスト持参
10月9日(金)	5限目 6限目	メンバー同士の交流会② ・5限目:研修会, 6限目:懇親会・集合写真撮影	原則 全員参加
10月16日(金)	6限目	★勉強会② ・野田君の講話(「教員試験を体験に受けて見て」) ・中村さんの講話(「教育実習の体験談について」) ・11/9(月)の研修会出席調査(説明:三岳, 調査:吉開) ・教員採用試験の概要について(顧問の木村先生より)	野田君の講話は、後日に延期
10月23日(金)	6限目	テクノファンタジーに向けての準備	原則
10月25日(日)	—	●テクノファンタジー	全員参加
10月30日(金)	6限目	★勉強会③ ・模擬授業の練習(6名の模擬授業:1人15分間)	M303教室で実施

サークルの活動計画 (11・12月)

活動日	時間帯	活動内容	備考
11月6・7・8日	—	●非芹祭(崇友会の手伝い)	参加者のみ
11月9日(月)	3・4・5・6限目	●研修会 ・教育サロン(PM1:00~5:30) ・懇親会(PM6:00~)	原則 全員参加
11月13日(金)	6限目	◆教職教養講座①【担当教員:山本先生】	講義形式
11月20日(金)	6限目	★勉強会④ ・専門科目の勉強(教科別チーム編成:グループワーク形式)	各自テキスト持参
11月27日(金)	6限目	◆教職教養講座②【担当教員:園部先生】	講義形式
12月4日(金)	6限目	★勉強会⑤ ・専門科目の勉強(教科別チーム編成:グループワーク形式)	各自テキスト持参
12月5日(土)	4・5・6限目(PM3:00~開始予定)	●崇学会総会 ・合格体験記(若手教員の発表) ・教職サークル紹介(活動報告及び全員の自己紹介等) ・班別での交流会(現役教員との座談会)・懇親会等	原則 全員参加 (5・7名札着用)
12月11日(金)	6限目	◆教職教養講座③【担当教員:西村先生】	講義形式
12月18日(金)	6限目	◆教職教養講座④【担当教員:岩本先生】	講義形式
12月23日(水)【予定】	—	●H27年度 第1回入学前スクーリング	事前打ち合わせあり

☆☆ 現在、新規サークル部員募集中！！ お気軽に顧問(木村)又は新部長(ナノ新3年 谷崎)まで。